

船形山～(御所山・200名山)～

【報告者】I丸

【日時】2018年 10月 15日 【天候】曇り時々晴れ

【参加者】I丸

《コースタイム》

6:00 旗坂キャンプ場跡登山 → 升沢コース → 7:45 三光の宮 → 8:20 分岐 → 8:50 蛇ヶ岳 →
9:50 船形山 山頂 → 11:20 升沢小屋 → 12:20 分岐 → 14:00 旗坂キャンプ場跡登山

《 報 告 》



7年間紅葉の時期に通い続けた東北地方。この度、常宿にしていた民宿が10月末日で閉館となる為、ご挨拶かたがた東北へ行く事にしました。山深い地域でなかなか行けなかった、宮城と山形の県境船形連峰の主峰、船形山（御所山）を登りました。

コースは、色々ありますが、登山口まで舗装道路でアプローチ出来る升沢コースがレンタカーでは無難と思い決めました。平日の為、駐車場には、3台のみ。とても静かでありがたいが、熊との遭遇がちょっと心配です。

駐車場の登山ポストへ計画書を提出する。少し林道を

歩いて左手の登山口へ入ります。ちょっと分かりにくくて教えてもらいました。色付き始めたブナ林の登山道を歩きますが、今年の紅葉はあまり良くありません。夏の猛暑と少雨、台風の影響で葉っぱは傷んでいました。それでも九州とは違った原生林を歩くのは、大変気持ちがいいです。時々獣臭がちょっと気になりますが...

チリンチリンとストックに熊鈴を付けて自己アピールしながら歩きます。私は、瓶石の分岐から蛇ヶ岳へ登ったので誰にも会いませんでした。途中の湿地帯は、木道が朽ちて沈み込んでいるため、かなり靴を濡らしてしまいました。そして、所々に獣の糞を発見。ちょっと心細いとチリンチリン！と振り回し、「これは、イノシシかしら？」と思いながら頂上までの稜線を歩きます。

稜線上の紅葉はすでに終わっており、眼下に紅葉が広がっていました。山頂は、360度のパノラマです。が、雲が多かったので遠方までは見る事が出来ず。山頂で、駐車場で話した方と会いました。「升沢を登ってきたが、石は滑るし、枝沢があつて

山頂避難小屋



分かりにくい。下りには使わない方がいいですよ。」とアドバイスを頂きました。「そうか...。」と思いつつも、あまりにも滑ったら登り返そう！と思い、行ってみる事に。

まあ、大崩山の一般道にある岩に比べると、滑りません。枝沢もよくテープを見れば大丈夫でした。最後は、沢の中を歩いて升沢小屋に問題なく到着。ピナクルで長く沢登を経験したお陰です。ですが確かにこのコースは、下りには使わない方がいいようです。

そこから、ダラダラと長いブナ林の下山路になります。途中は、ちょっと泥濘もあり、全くもって防水性を失くした登山靴がうらめしかったです。



駐車場に到着すると、山頂でお会いした方と再会。「大丈夫でしたか？」と心配して頂き恐縮です。その方は、北海道からの出張中。で、ついでに登山の登山者。その方曰く、北海道の沢の石には苔が無く滑らないそうです。私はお伝えしました。「九州の沢は、苔だらけですよ。」と。

このコースは、往復 16km。長いです。ダートな林道を行ければ、もっと短いコースを選べます。毎年、遠目に眺めていた船形山。やっと今回は登る事が出来ました。



紅葉は裾野に広がっていた

